

「釧路湿原自然再生協議会」

第 25 回 湿原再生小委員会

資 料

令和 5 年 2 月 15 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

－ 第 25 回湿原再生小委員会 －

日時：令和 5 年 2 月 15 日（水） 13:30～15:30

場所：釧路地方合同庁舎 5 階 第 1 共用会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 幌呂地区湿原再生事業の状況報告と実施内容について

(国土交通省北海道開発局釧路開発建設部)

- 2) 達古武湖自然再生事業の状況報告と事業実施計画（追記）について

(環境省 釧路自然環境事務所)

3. 閉 会

----- 配 付 資 料 -----

- ・ 第 25 回湿原再生小委員会 資料 ----- (資料 1)
- ・ 出席者名簿 ----- (資料 2)
- ・ 座席表 ----- (資料 3)
- ・ 説明資料(1/2) 幌呂地区湿原再生について ----- (資料 4)
- ・ 説明資料(2/2) 達古武湖自然再生について ----- (資料 5)
- ・ 達古武湖自然再生事業実施計画の追記案 ----- (資料 6)
- ・ 第 24 回湿原再生小委員会 ニュースレター

--釧路湿原自然再生協議会 湿原再生小委員会 委員名簿--

計：67名

■個人(37名)

(敬称略、五十音順)

No	氏 名	所 属
1	荒谷 邦雄	九州大学大学院比較社会文化研究院
2	石岡 透	
3	伊藤 毅	上智大学
4	植村 滋	北方環境研究所名寄分室 主任研究員
5	加藤 ゆき恵	釧路市立博物館
6	金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
7	亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
8	川村 一人	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
9	神田 房行	北方環境研究所所長 (元北海道教育大学副学長)
10	木附 晃実※	九州大学共創学部 准教授
11	木村 勲	
12	黒田 寛	
13	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
14	櫻井 一隆	
15	清水 信彦	
16	新庄 興	
17	新庄 久志	
18	杉澤 和之	
19	杉澤 拓男	
20	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
21	竹中 康進	
22	照井 滋晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG
23	中村 隆俊	東京農業大学 生物産業学部 講師
24	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
25	根岸 淳二郎※	北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授
26	野本 和宏	釧路市立博物館
27	針生 勤	
28	平間 清	有限会社平間ファーム
29	藤岡 悠一郎※	九州大学共創学部 准教授
30	松本 文雄	
31	三上 英敏	北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所
32	矢部 和夫	札幌市立大学 名誉教授・専門研究員
33	山田 浩之	北海道大学大学院農学研究院 講師
34	吉中 厚裕	酪農学園大学 環境共生学類 国際理解学研究室 教授
35	若菜 勇	釧路国際ウェットランドセンター 阿寒湖沼群・マリモ研究室
36	渡部 哲史	京都大学防災研究所
37	渡辺 剛弘	上智大学

※印 第11期(R4.11~R6.11)新規登録

■団体(21名)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	株式会社日野組※	代表取締役 日野 貴
2	釧路川カヌーネットワーク	会長 小川 清史
3	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
8	公益財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
9	公益財団法人 北海道環境財団	理事長 小林 三樹
10	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所水環境保全チーム	上席研究員 柿沼 孝治
11	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
12	東京農業大学キタサンショウウオ研究会※	幹事 居馬颯汰
13	総合設備株式会社	代表取締役 亀岡 孝
14	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
15	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
16	特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会	理事長 杉山 伸一
17	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
18	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
19	北海道標茶高等学校	校長 小森 章史
20	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
21	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(3団体)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 鈴木 重充
2	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 武藤 清隆
3	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(6機関)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 井上 勝伸
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 川越 久史
3	釧路市	市長 蝦名 大也
4	釧路町	町長 小松 茂
5	標茶町	町長 佐藤 吉彦
6	鶴居村	村長 大石 正行

湿原再生小委員会の検討経過 (1)

	議事
第 1 回 H16. 2. 17	1) 全体構想と小委員会との関わりについて 2) これまでの調査・検討経緯について (1) 広里地区湿原再生について (2) 幌呂川地区湿原再生について (3) 雪裡樋門湛水試験について 3) 今後の調査・検討方針について
第 2 回 H16. 6. 25	1) 平成 15 年度の調査・検討成果について 2) 平成 16 年度以降の調査・検討方針について 3) 全体構想との関わりについて
第 3 回 H17. 5. 11	1) 小委員長選出について 2) H16 年度調査検討結果と H17 年度調査検討計画について (1) 釧路湿原の面積について (2) 釧路湿原全域動植物調査の概要 (3) 広里地区 (4) 幌呂川地区 (5) 関連する農業整備事業について (6) 雪裡樋門地区
第 4 回 H20. 3. 3	1) 幌呂地区の変遷と現状 2) 幌呂地区で生じた現象と課題 3) 幌呂地区の湿原再生目標の設定 4) 広里地区の湿原再生
第 5 回 H21. 3. 18	1) 幌呂地区の湿原再生目標の概要 2) 幌呂地区 平成 20 年度の調査結果 3) 平成 21 年度の予定
第 6 回 H22. 9. 2	1) 幌呂地区湿原再生について 2) 広里地区湿原再生について 3) 釧路湿原の面積について 4) 5 年目の施策の点検について
第 7 回 H23. 1. 19	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生について 3) 5 年目の施策の振り返りについて
第 8 回 H23. 4. 27	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生のリファレンスサイトについて
第 9 回 H23. 10. 20	1) 幌呂地区湿原再生（基本方針）について 2) 幌呂地区湿原再生（実施方針）について 3) モニタリング計画について 4) 広里地区自然再生について（旧農地区域の湿原への再生、ハンノキ林の取扱いの検討） 5) 釧路湿原の面積について
第 10 回 H24. 1. 18	1) 幌呂地区湿原再生実施計画（案）について 2) 達古武湖における自然再生の取り組みについて 3) 釧路湿原の面積について

湿原再生小委員会の検討経過（2）

	議事
第 11 回 H24. 11. 8	1) 幌呂地区湿原再生における今年度の実施予定等について 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区湿原再生事業実施計画の策定について
第 12 回 H25. 1. 24	1) 幌呂地区湿原再生における未利用排水路の埋め戻しについて 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区自然再生における今年度調査実施状況について
第 13 回 H25. 12. 2	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査等と南部湿地対策工事の概要について
第 14 回 H26. 1. 28	1) 広里地区湿原再生について
第 15 回 H26. 12. 24	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区自然再生における今年度事業内容について
第 16 回 H27. 12. 18	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について
第 17 回 H28. 11. 29	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について
第 18 回 H29. 3. 10	1) 第 23 回釧路湿原自然再生協議会の概要について 2) 平成 28 年度幌呂地区自然再生工事の土砂置場について
第 19 回 H29. 12. 12	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区湿原再生における実施内容の報告等について
第 20 回 H30. 6. 15	1) 達古武湖自然再生における達古武地域の事業振り返り及び実施計画（追記）について 2) 広里地区湿原再生における平成 30 年度広里地区自然再生事業について 3) 幌呂地区湿原再生事業について
第 21 回 H30. 12. 4	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区湿原再生における実施内容の報告等について
第 22 回 R2. 1. 17	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区湿原再生における実施内容の報告等について
第 23 回 R3. 1. 21	1) 幌呂地区湿原再生事業の状況報告と実施内容について 2) 達古武湖自然再生事業の状況報告と実施内容について 3) 広里地区湿原再生事業の報告について
第 24 回 R4. 1. 25	1) 幌呂地区湿原再生事業の状況報告と実施内容について 2) 広里地区湿原再生事業の報告について 3) 達古武湖自然再生事業の状況報告と実施内容について

第 24 回湿原再生小委員会の発言概要と今後の検討方針

項目	発言概要（課題）	回答及び今後の対応方針
幌呂地区自然再生について	<ul style="list-style-type: none"> ・B 区域北部の切り下げ案は、周囲の野生生物への影響を考え避けたほうが良い。また、ハンノキ林でも林床植生によっては湿原と評価しても良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえて次年度以降の検討を進めていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・B 区域の排水路を埋め戻さずにせき上げるのは有効と思われる。また、埋め戻し対象外の排水路にも遮水効果を持たせるよう検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の高さなど現地状況を確認し、保水効果を事業計画に反映したいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が埋め戻しで水位上昇するかは実測を重ねて調べていくのが良い。また、B 区域には高台から流れている表流水や地下水を排水路に流すのではなく、再生地に滞水または散らすなどを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路をできるだけ地表面までせき上げて常時湛水する状況をつくることで、降雨時に水が周囲に供給されるようにするなど、周辺農地に影響がない範囲で方法を検討したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・湿原に戻ったかについては、優占種が湿原性かどうかを確認しなければ評価できない。植被率だけではなく、優占種や群落組成調査の実施を踏まえたモニタリングは必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湿原中心部での水国調査や既往調査文献等による群落組成調査結果をリファレンスとし、現状の評価を行う方針で検討していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物理環境の変化が生物にどのように影響して現在の生息環境になっているのかを整理することで、今後の対策に繋がると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のモニタリングの進め方について、現地状況を確認し、方法を検討していきたい。植物以外の生物についても専門家と連携しながら対応していきたいと考えている。

項目	発言概要（課題）	回答及び今後の対応方針
広里地区自然再生事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンノキ林の衰退について、衰退の判断の考え方や衰退の要因についてまとめると良い。また、「ハンノキ林に問題がない場合はそのまま収束する」とのことだが、想定している問題について教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度にモニタリングを実施し、その結果をもって問題が生じているかご意見をいただき検討していきたい。
達古武湖自然再生について	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養塩の発生源が流入負荷なのか、底質の嫌気化による溶出なのかを把握しなければ対策が難しい。全体的な栄養塩の収支バランス、水循環の評価は過去に検討しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に実施していないため、次年度以降の検討材料にしたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養塩負荷が起こった 1990 年代で何が起きたか把握しているのか。蓄積した底泥が要因であれば浚渫が考えられるが、見通しはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2014 年に南部で浚渫しているが、それ以外は実施していない。底泥に要因があるかもしれないため、次年度以降検討を進めていきたい。

第25回 湿原再生小委員会 (R05.02.15) 出席者名簿

計：20名

■個人 (12名)

(敬称略、五十音順)

No	参加方法	氏名	所属
1	会場	伊藤 毅	上智大学
2	web	加藤 ゆき恵	釧路市立博物館
3	会場	神田 房行	北方環境研究所所長 (元北海道教育大学副学長)
4	web	黒田 寛	
5	会場	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
6	会場	清水 信彦	
7	会場	新庄 久志	
8	会場	照井 滋晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG
9	web	根岸 淳二郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授
10	web	針生 勤	
11	web	矢部 和夫	札幌市立大学 名誉教授・専門研究員
12	web	吉中 厚裕	酪農学園大学 環境共生学類 国際理解学研究室 教授

■団体 (3団体 3名)

(敬称略、五十音順)

No	参加方法	団体/機関名	出席者名
1	会場	釧路国際ウェットランドセンター	元岡 直子
2	会場	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	芳賀 孝朋
3	会場	釧路湿原国立公園連絡協議会	元岡 直子

■関係行政機関 (5機関 5名)

(敬称略)

No	参加方法	団体/機関名	出席者名
1	会場	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	菅野 法之
2	会場	環境省 釧路自然環境事務所	柳川 智己
3	会場	釧路市	元岡 直子
4	web	釧路町	高橋 愛梨
5	web	鶴居村	小玉 聖亜斗

湿原再生小委員会 委員 20名 / 67名